

+  
・ 「今」はじめよう  
○ あなたを守る  
HPVワクチンと子宮がん検診

鳥取大学医学部附属病院 女性診療科 佐藤絵理

# 日本人の死亡原因

厚労省 人口動態統計 (2023)

	女性	男性
1位	悪性新生物 (がん)	悪性新生物 (がん)
2位	老衰	心疾患
3位	心疾患	脳血管疾患
4位	脳血管疾患	老衰
5位	肺炎	肺炎

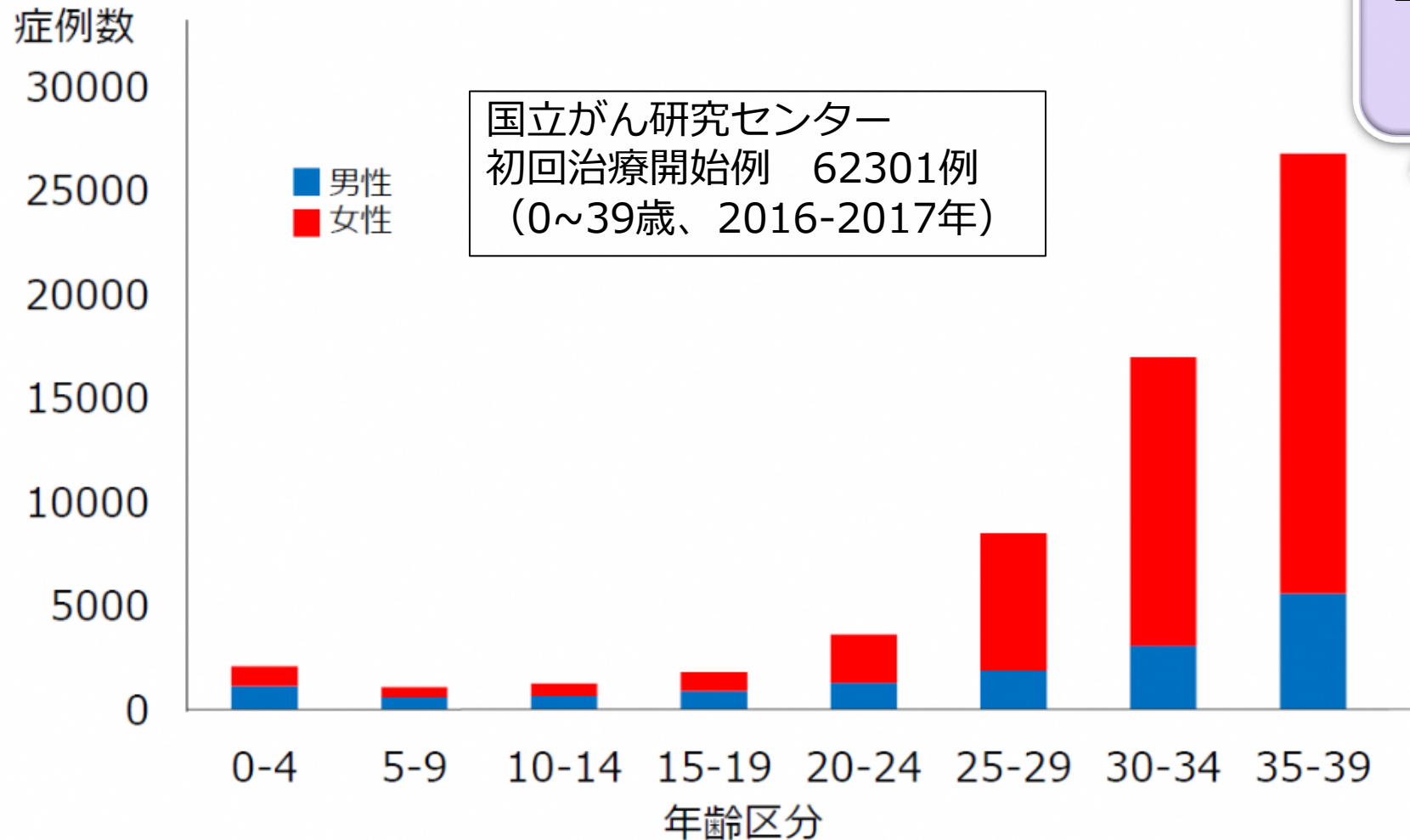
厚労省の簡易生命表によると、  
2022年の日本人の平均寿命は 女性が 87.1歳、男性が 81.1歳

# 年齢階級別 悪性新生物(がん)の死因順位

	女性	男性
20～24歳	3位	3位
25～29歳	2位	3位
30～34歳	2位	2位
35～39歳	1位	2位
40～44歳	1位	2位

出典：厚生労働省「令和3年人口動態統計」

# 男女別の年齢階級別がん罹患数



20~39歳のがんの  
約80%は女性！

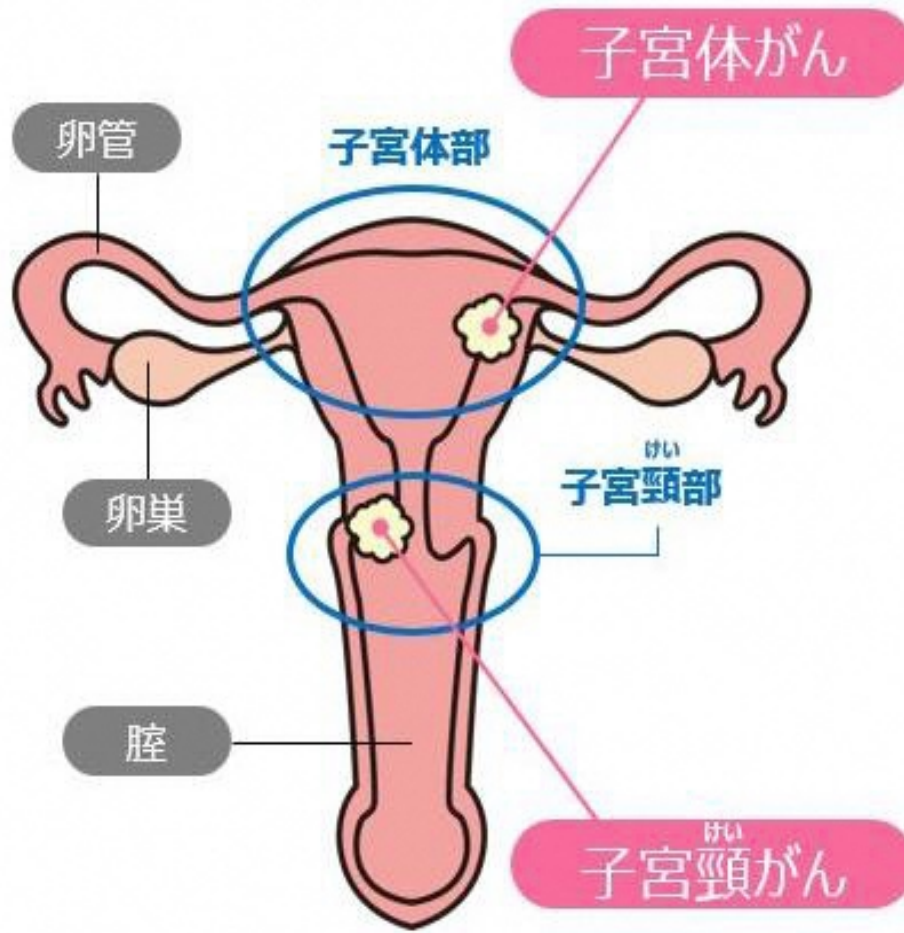
# 女性の年齢別のがん罹患数と順位（2019年）

部位 [罹患数]	1位	2位	3位	4位	5位
20～29歳	子宮頸がん※ [2,843]	甲状腺がん [639]	卵巣がん [414]	乳がん※ [332]	悪性リンパ腫 [175]
30～39歳	子宮頸がん※ [10,406]	乳がん※ [4,020]	甲状腺がん [1,366]	卵巣がん [823]	子宮体がん [648]

※上皮内がんを含む

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」  
全国がん罹患データ（2016-2019）

# 子宮頸がんとは



	子宮頸がん	子宮体がん
発生部位	子宮の入り口の子宮頸部	胎児を育てる子宮体部の内側にある子宮内膜
発症年齢	20代後半から多くなり、40代以降は横ばい。若い年齢(20~30代)で増えている。	40代から多くなり、50~60代の閉経前後で最も多くなる。
主な発生原因	ヒトパピローマウイルス (Human Papilloma-virus : HPV)の感染	エストロゲン (女性ホルモン)の長期的な刺激

# 子宮頸がんの罹患数と死亡者数



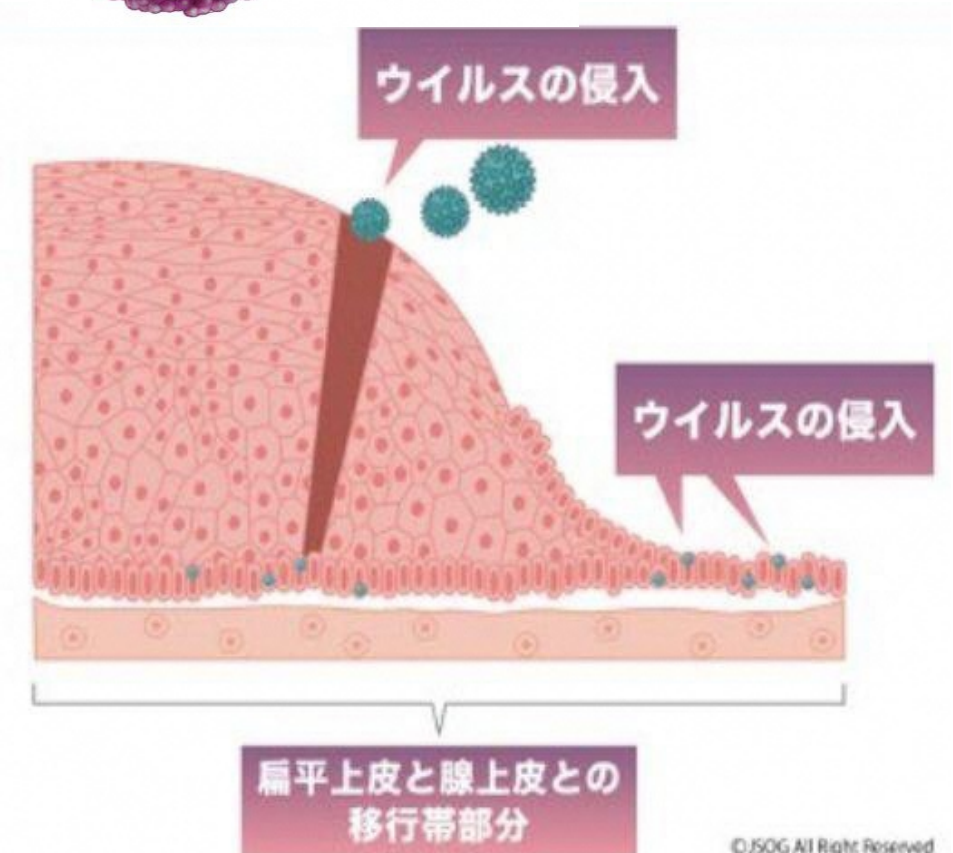
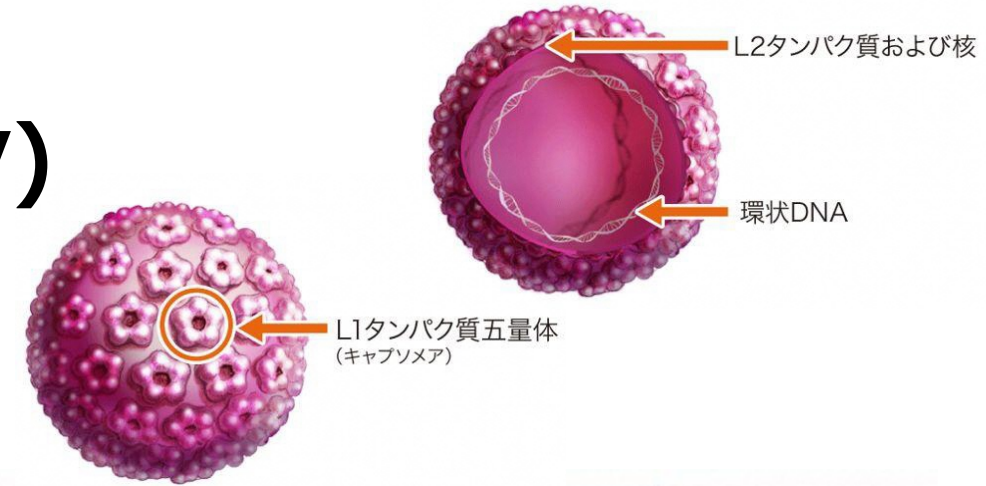
地域がん登録全国推計によるがん罹患データより



国立がん研究センターがん対策情報センターデータより

# ヒトパピローマウイルス (HPV)

- 人にのみ感染するDNAウイルス
- 性的な接触により感染する
- 200種類以上の遺伝子型がある
- 皮膚にいぼを作ったり、粘膜に感染してがんの原因になることがある  
(がんに関連するハイリスク型：16.18型)
- 生涯に8割以上の人が1度は感染する





# 子宮頸がん



# 子宮頸がんの治療

前がん病変

円錐切除術

IA1期

単純～準広汎子宮全摘出術、円錐切除術

IA2期

準広汎子宮全摘出術 + 骨盤リンパ節郭清術  
あるいは広汎子宮全摘出術

IB1/IB2期  
～II期

広汎子宮全摘出術  
あるいは同時化学放射線療法 (CCRT)

III期/IVA期

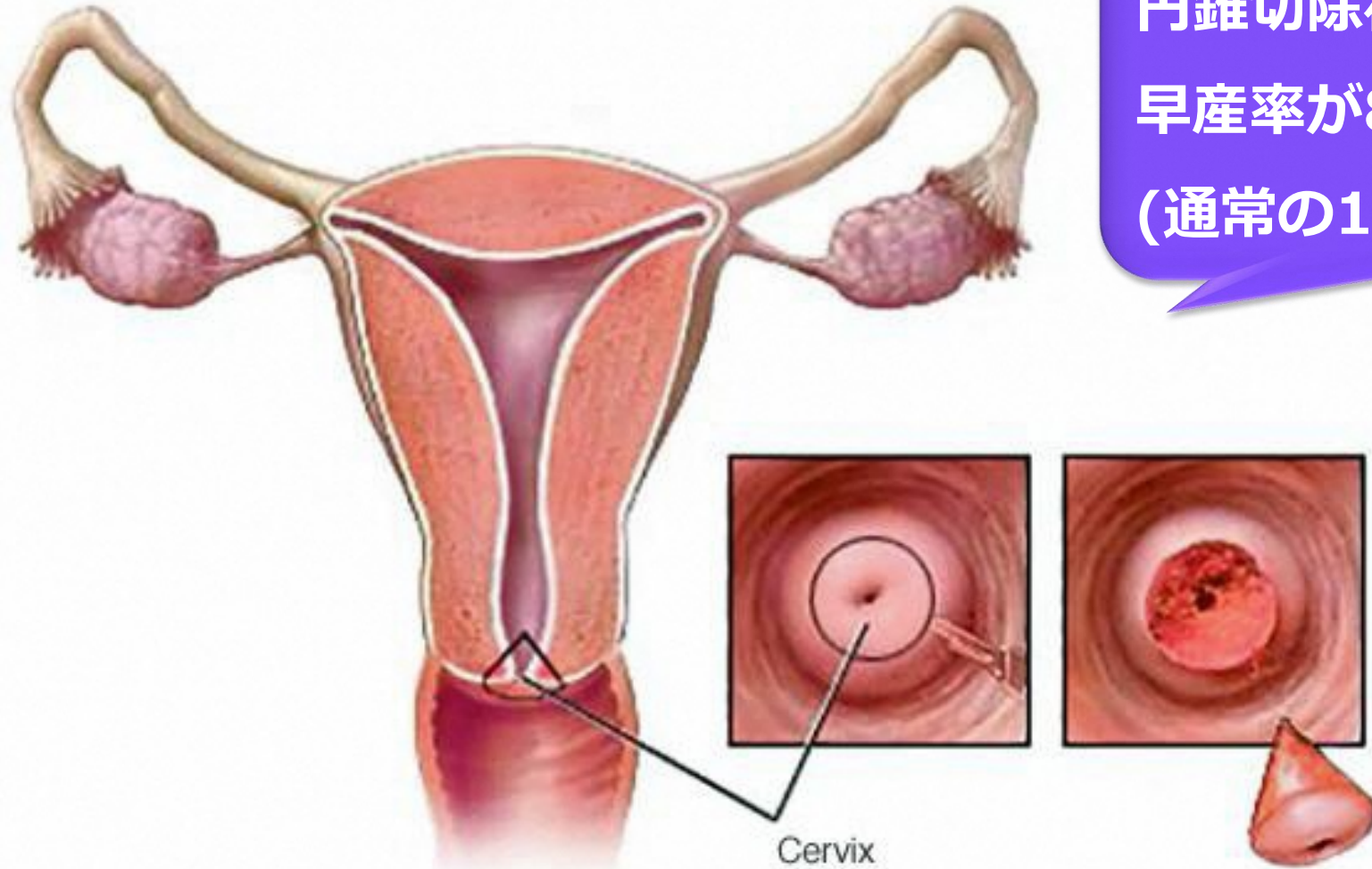
同時化学放射線療法

IVB期

化学療法

基本的に  
子宮全摘術や  
放射線療法

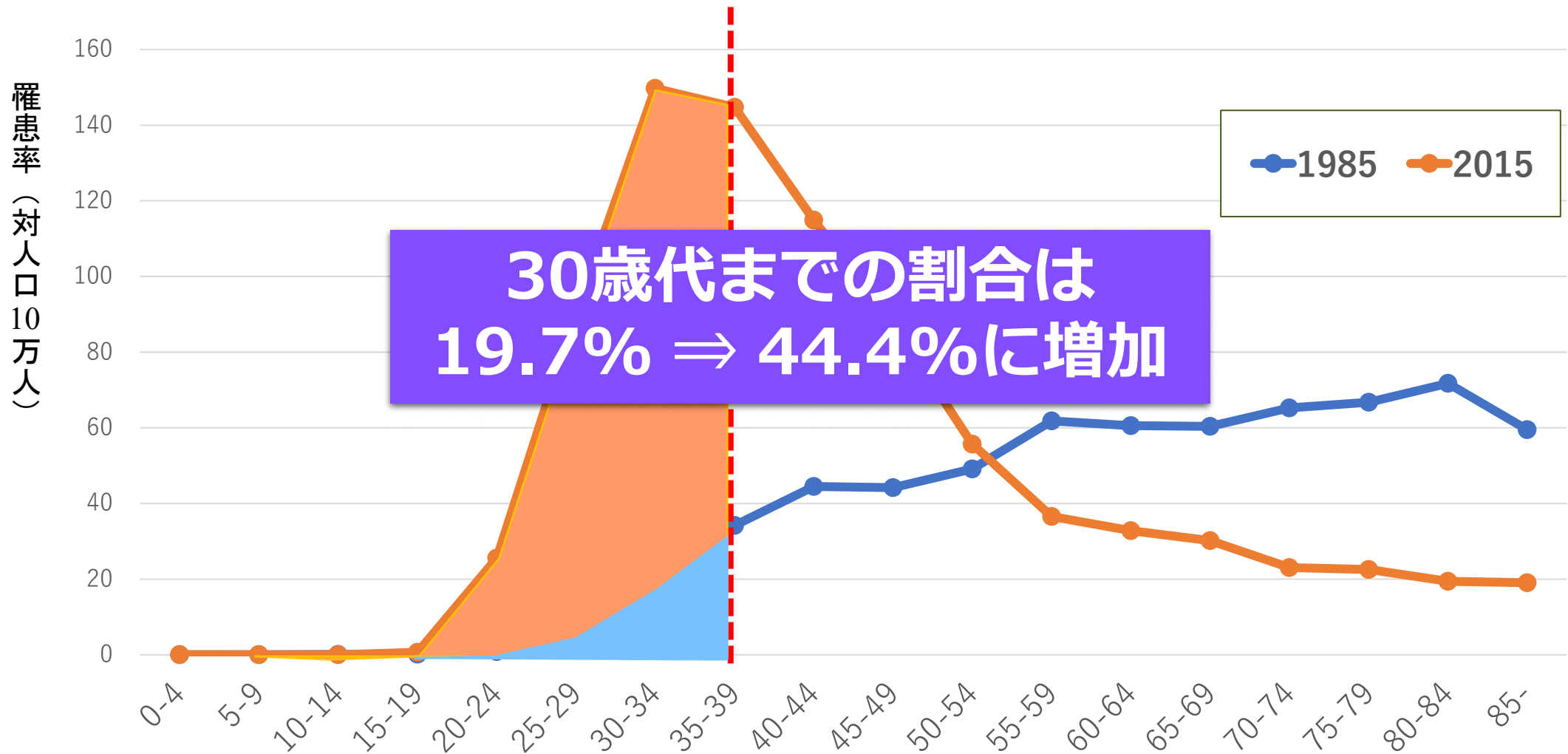
# 子宮頸部円錐切除術



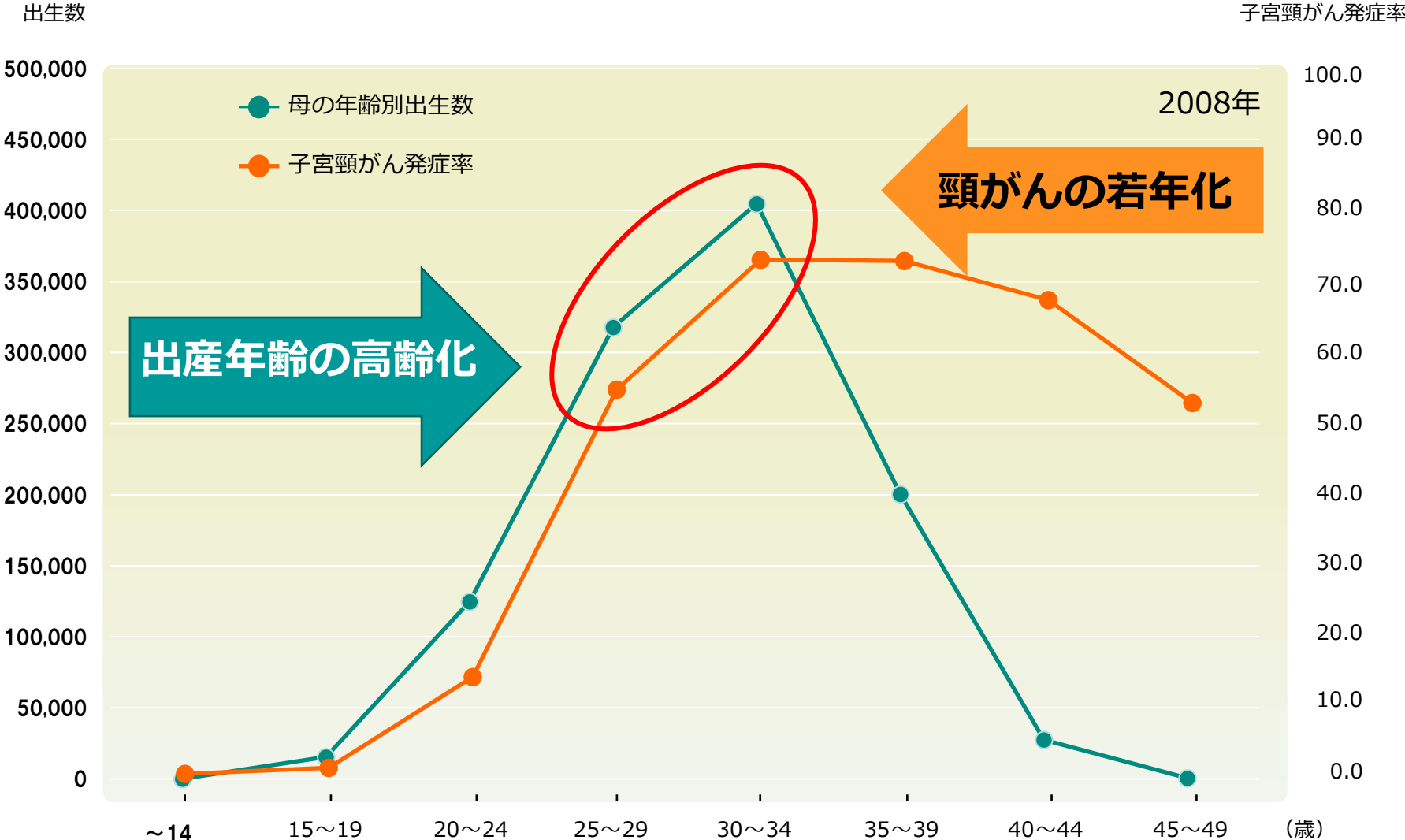
円錐切除後の妊娠では  
早産率が8~15%  
(通常の1.5~3倍)

© MAYO FOUNDATION FOR MEDICAL EDUCATION AND RESEARCH. ALL RIGHTS RESERVED.

# 若年化している子宮頸がん



# 出産年齢と子宮頸がん罹患率



厚生労働省 平成20年度人口動態  
母の年齢別にみた年次別出生数・百分率および出生率 (女性人口千対)

## 子宮が温存できるか否か

円錐切除



広汎子宮全摘出術

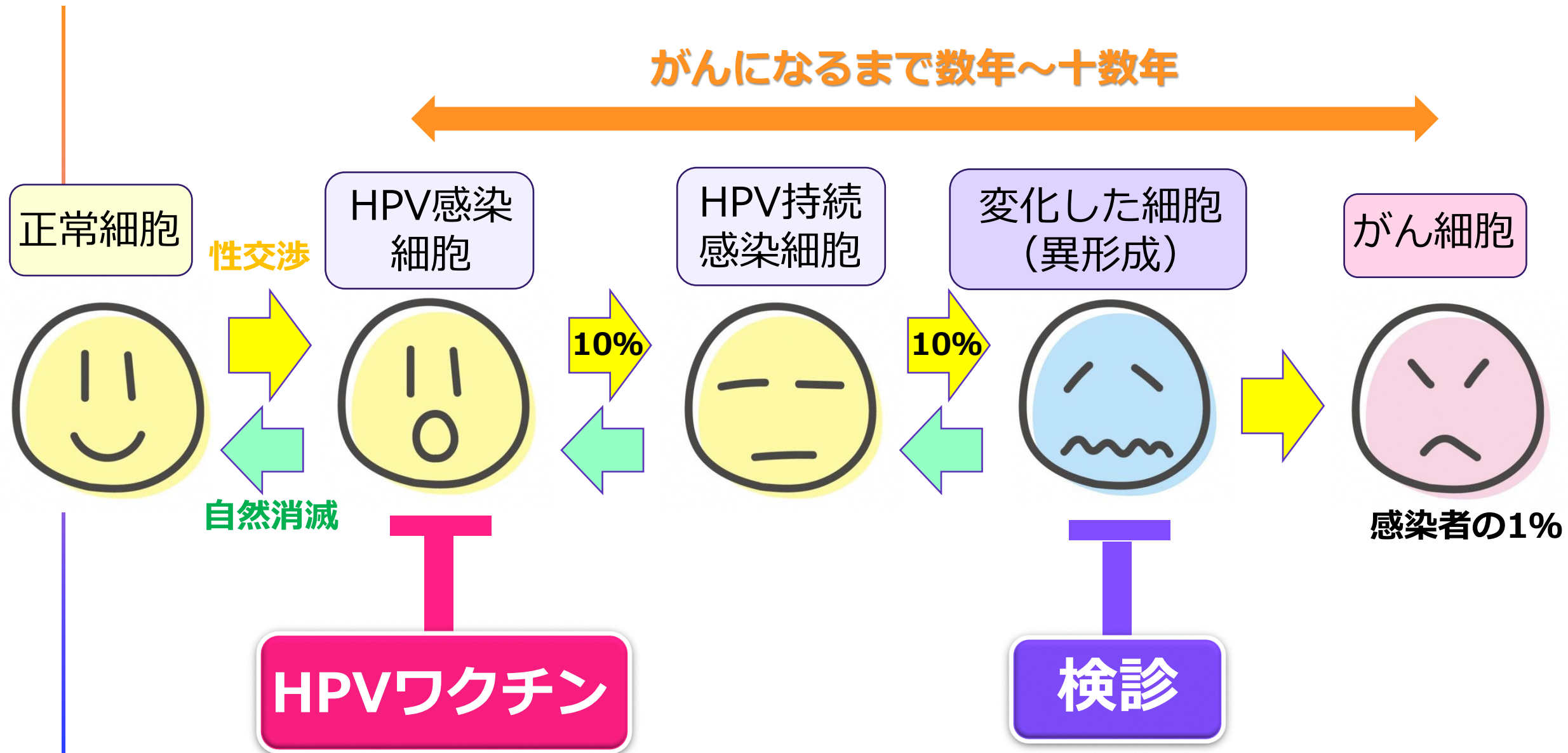
これから結婚・出産を迎える世代では特に深刻な問題



+  
•  
○

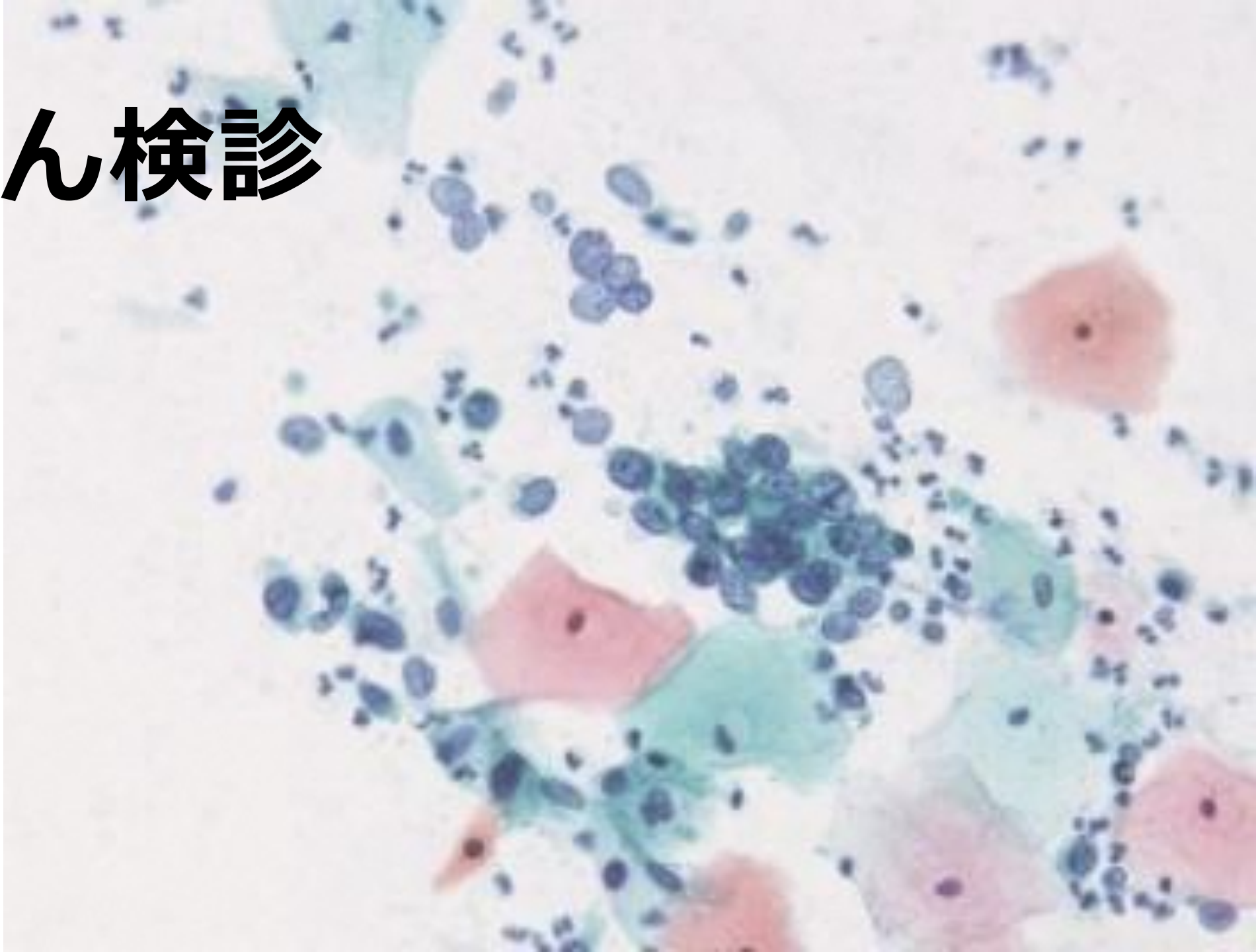
子宮頸がんにならないために、  
できるだけ早く見つけるために、  
「今」できることは？

# HPV感染と子宮頸がんの発症



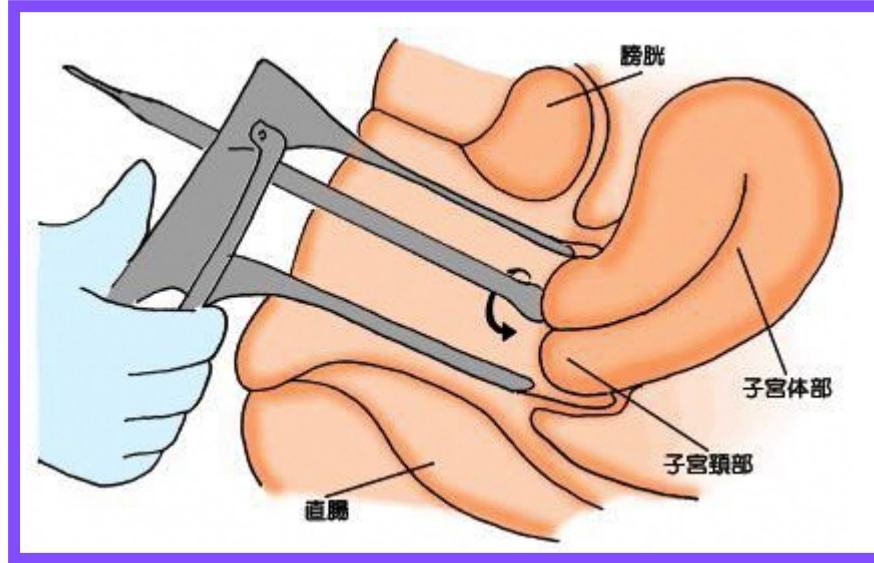


# 子宮がん検診

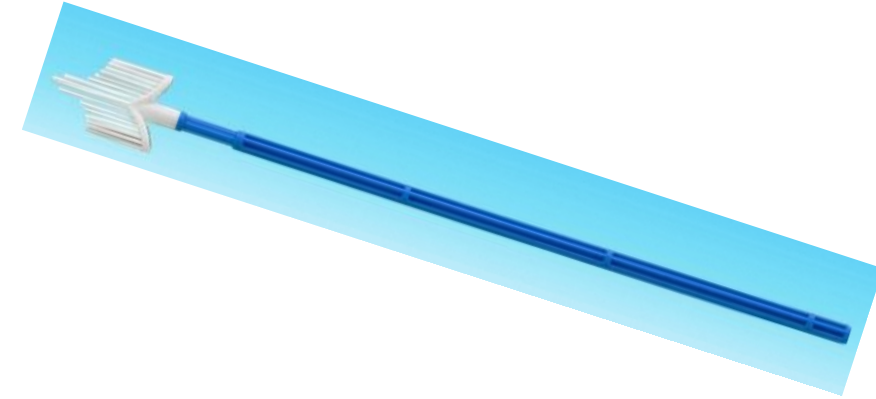


# 子宮がん検診

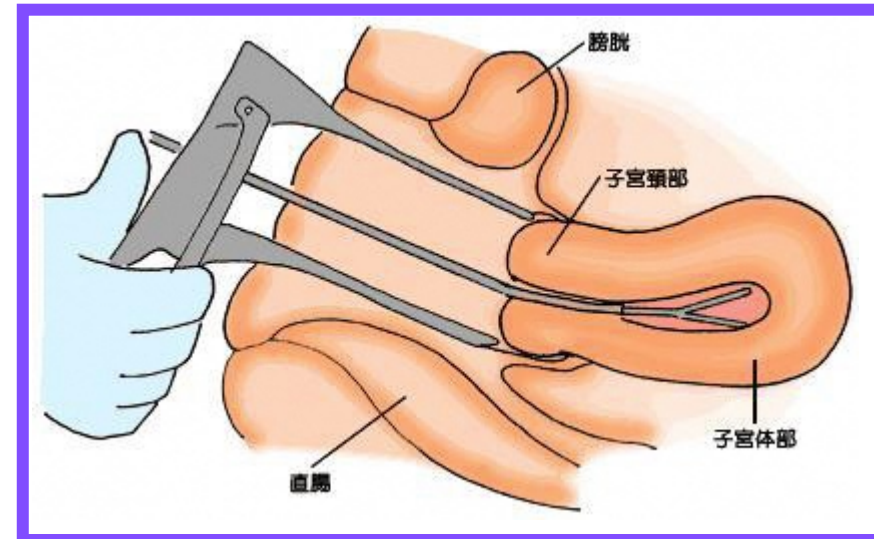
## 1. 子宮頸部細胞診 = 子宮頸がん検診



子宮頸部(子宮の入り口)を  
ブラシでこすって細胞を  
採り、顕微鏡で観察する



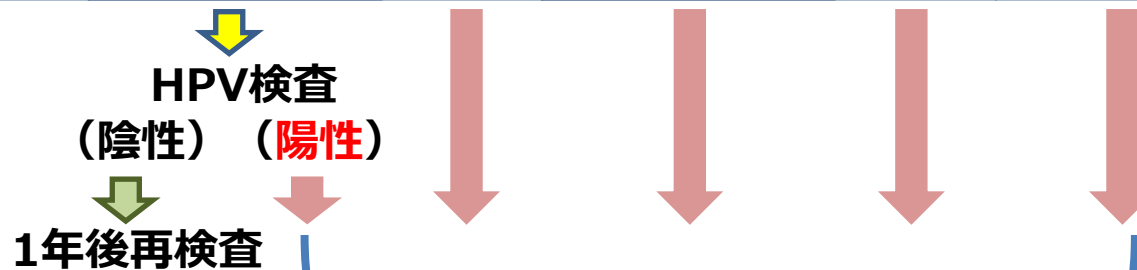
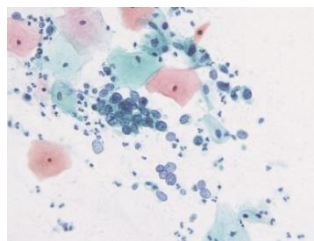
## 2. 子宮内膜細胞診 = 子宮体がん検診



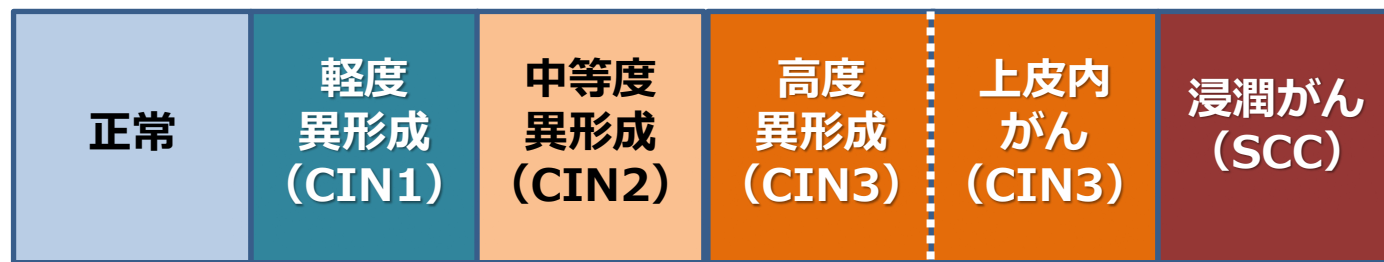
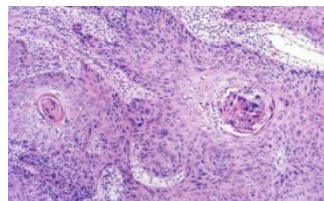
# 子宮頸がん検診の結果

扁平上皮系病変

細胞診検査  
(検診など)



病理組織検査  
(精密検査)



経過観察

円錐切除

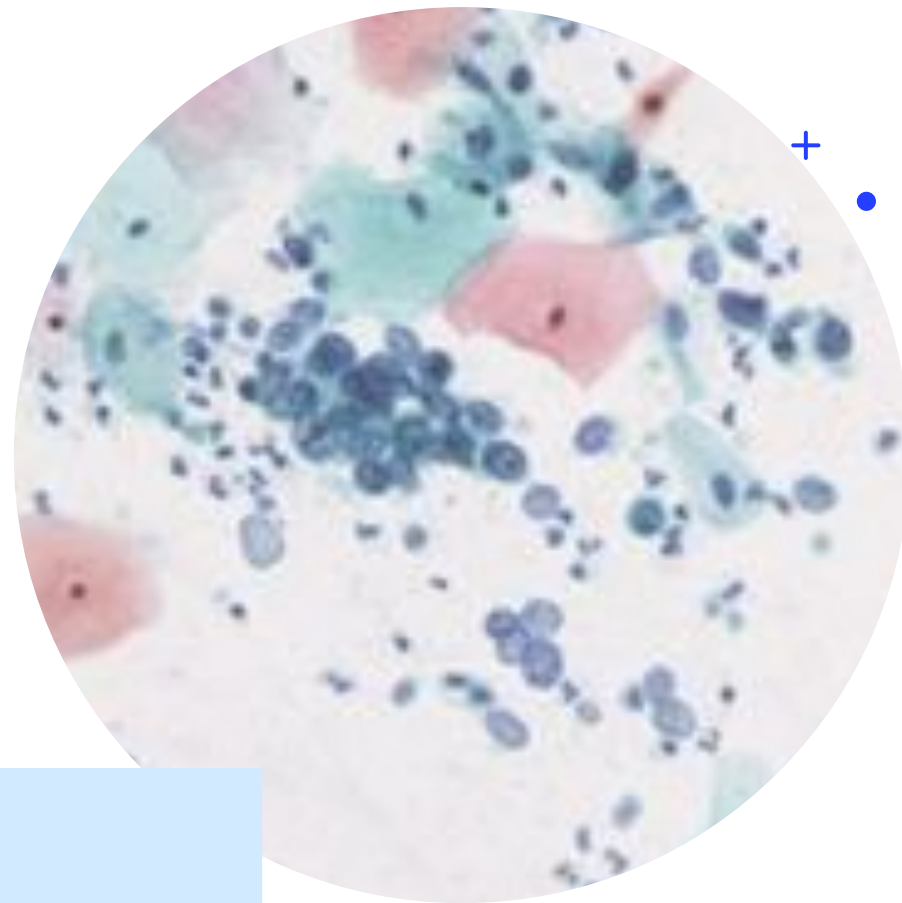
子宮摘出

# 子宮頸がん検診

- 対象年齢：20歳から  
(性交経験がある場合)
- 受診間隔：2年に1度

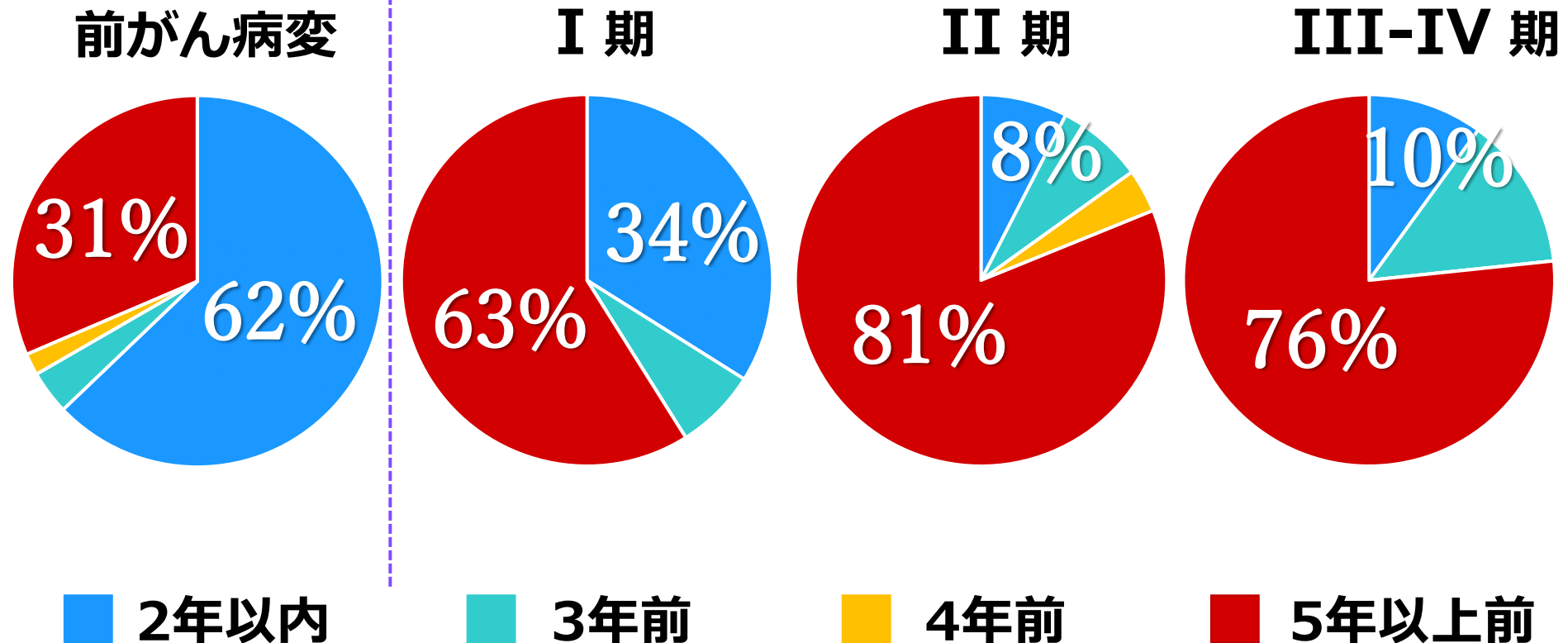
早期の子宮頸がんや前がん病変のうちは  
症状がないことがほとんど

⇒自覚症状がないうちにがん検診を受けることが大事！



# 子宮頸がん症例の検診受診歴

2016-2018年に鳥取大学で治療を受けた前がん病変とIB1期以上の頸がんの比較



定期的に検診を受けることで、早期発見につながる可能性高い